

平成28年第2回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

## 1 カナダ・サスカツーン市高校生受入れ交流事業について

まず始めに、カナダ・サスカツーン市高校生受入れ交流事業についてありますが、4月5日から8日の4日間にわたり、高校生20名、指導団員2名の訪問団が本市に滞在しました。

訪問団は、市内の家庭にホームステイをしながら、市内外の施設見学や、札幌日大高校での交流や茶道体験など、市民と積極的に交流を図り、本市との友好に努めたところであります。

## 2 平成28年度全国学力学習状況調査について

次に、平成28年度全国学力学習状況調査についてありますが、4月19日に、小学校6年生551名及び中学校3年生600名が参加し、今年度につきましては、国語、算数・数学の学力及び学習状況調査を実施したところであります。

今後、調査結果の分析を行い、学校における児童生徒への教育指導の内容・方法の充実や、児童生徒個々の学習状況の改善に努めてまいりたいと考えております。

### 3 学校給食における食物アレルギー調査について

次に、学校給食における食物アレルギー調査についてであります。平成27年12月に、全小中学校に対し調査を依頼し、本年2月末に回収したところであります。

保護者からの回答によりますと、小学校では、新1年生を含む全児童3,105人中、何らかのアレルギーを持つ子は367人と、全児童の11.8%、中学校では、全生徒1,813人中、208人と、全生徒の11.5%といった状況でありました。

なお、回答の結果、小中学校ともに、卵、果物、牛乳がアレルギー原因食物の上位を占めていることも確認されたところであります。

また、4月26日には、食物アレルギー講演会を開催し、教職員や保護者、市民の皆様、約100名の参加をいただき、食物アレルギーを持つ子どもへの対応等について、学習を深めたところであります。

#### 4 「教育を語る会」の開催について

次に、「教育を語る会」の開催についてであります。5月13日に、教職員や保護者、市民の皆様、約150名の参加をいただき、文部科学省 初等中等教育局教育制度改革室 武藤<sup>ひさよし</sup>久慶様を講師に、「何故今、小中一貫教育が求められているのか」と題して、講演会を開催したところであります。

この講演会は、義務教育9年間の子どもたちの連続した学びの重要性について学ぶとともに、平成30年度から全市一斉に導入を予定しております小中一貫教育について、市民の皆様に理解を広めるために開催したものであります。

今後も、教育行政と学校、保護者、地域住民が協働しながら子どもたちの学びを支える教育環境づくりを進めるため、「教育を語る会」を開催するなど、教育情報の提供や共有に努めてまいりたいと考えております。

## 5 大阪府南河内郡太子町立<sup>たけのうちかいどう</sup>竹内街道歴史資料館との連携協定について

次に、大阪府南河内郡太子町立竹内街道歴史資料館との連携協定についてであります。平成23年頃から郷土史に関心の高い市民の皆様が中山久蔵翁の故郷である太子町を訪問し、太子町から学芸員や中山久蔵翁ゆかりのお寺の住職を招いて講演会を開催するなどの交流が重ねられてまいりました。

教育委員会といたしましても、双方の小学校社会科副読本において中山久蔵翁の事績を扱うとともに、ホームページへの互いのまちの情報掲載や、職員間での情報交流を企画展示などに活かしてきたところであります。

このような経過を踏まえ、太子町立竹内街道歴史資料館と北広島市エコミュージアムセンター知新の駅が相互に連携し、協力し合う関係性を持続していくことが重要であるとの合意に至り、去る5月17日、太子町に赴いて連携協定を締結したところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。